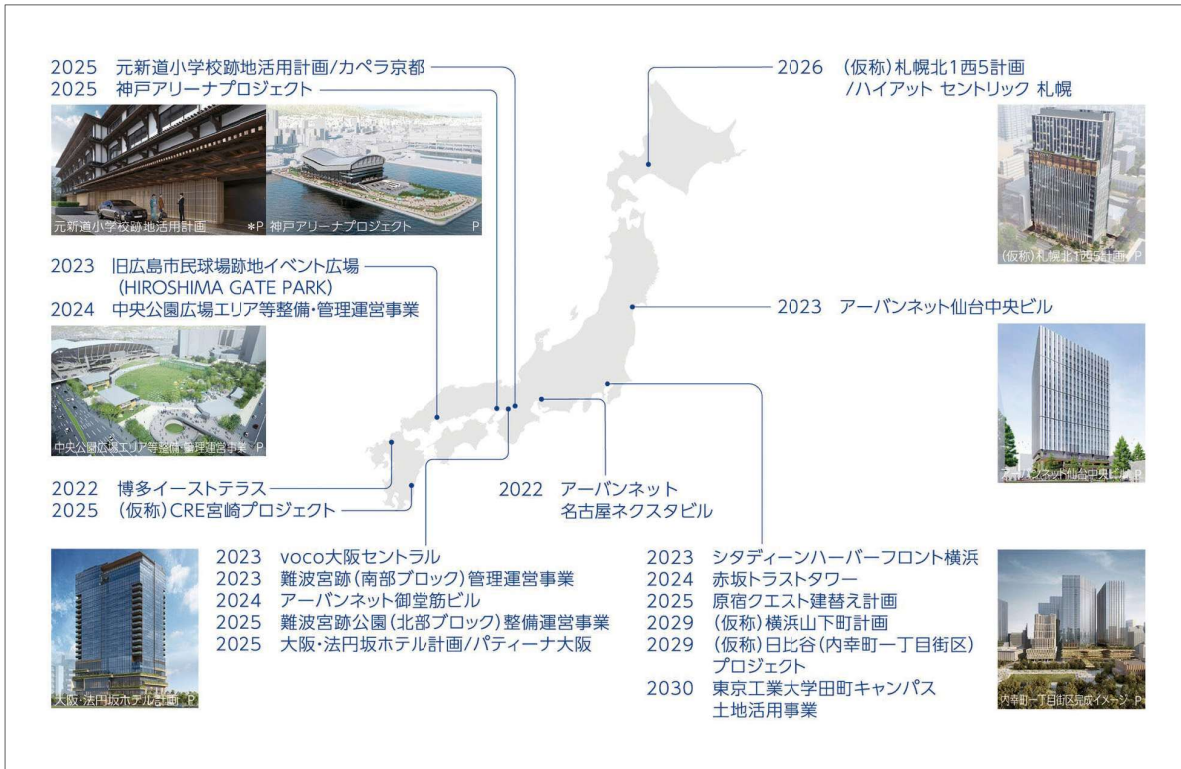
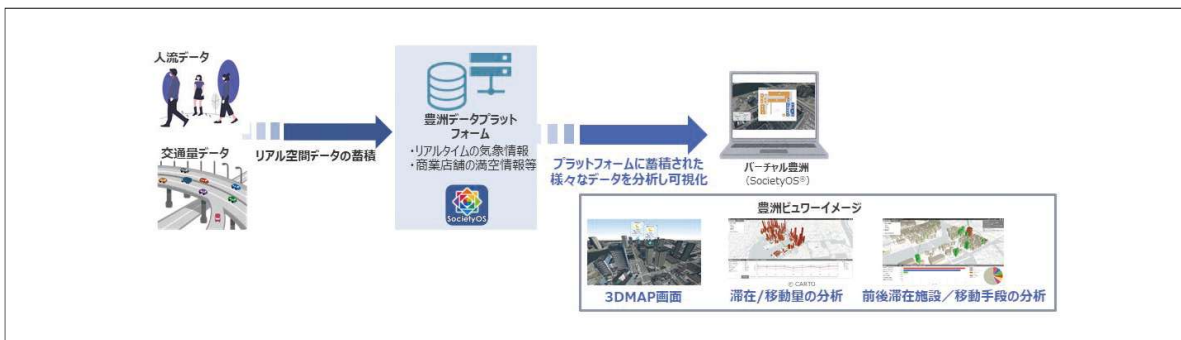


図表2-3-5 ▶NTTアーバンソリューションズグループの街づくり



出所：NTT都市開発「NTTアーバンソリューションズグループの街づくり」

図表2-3-6 ▶「バーチャル豊洲」取り組みイメージ



出所：NTTデータ「職・住・遊複合街づくりに繋がる都市情報活用（豊洲）」

なって以降、品川(港南エリア)や日比谷(内幸町一丁目)における大規模な街づくりプロジェクトにも着手。前者では「品川港南2050プロジェクト」としてNTTグループ保有資産の集積する品川駅東側エリアの再開発構想を推進している。後者では延べ床面積約110万㎡規模に及ぶ次世代スマートシティを実現するべく「TOKYO CROSS PARK構想」を帝国ホテルや東京電力HD等と共同で進めており、日比谷公園と一体となった比類なき街づくりをめざしている。NTTグループの不動産事業は、こうした先進的な都市開発への挑戦を通じて、地域の価値向上と歴史資産の継承、そして持続可能な都市空間の実現に向けた取り組みをさらに強化している(図表2-3-5)。

③スマートシティと未来への展望

都市化の進展と人口密度の増加に伴い、現代の都市が抱える課題は複雑化している。特に、公共交通機関の効率化、エネルギー資源の持続可能な利用、生活の質を高める環境づくりは、世界的な課題として認識されている。また、デジタル技術の急速な進化により、これらの課題に対して新しい解決策を模索する動きが加速している。このような背景の下、NTTグループは「スマートシティ」の構築を通じて、持続可能な都市インフラを提供し、次世代の暮らしを支える取り組みを進めている。

【NTT・東京メトロ】ICTインフラ強化とIoT活用

2019年、NTTと東京メトロは、東京の都市生活をより